



釧公大だより

AURORA



平成30年度 学位記授与式 2019年（平成31年）3月23日

東日本大震災により被災された学生に対し、引き続き経済的支援を行っています。

この震災により入学金や授業料の納付が困難となった学生に対して、入学金の免除や授業料の減免を行っています。

ご相談については、事務局学生課までお問い合わせください。

CONTENTS

学長メッセージ	2
退職教員あいさつ	3・4
新任教員紹介	4
大学ニュース・活躍する教員	5
留学を終えて	6
学生のページ	7
就職戦線最新情報	8



ボーッと生きていけないためには

釧路公立大学学長 高野 敏行

この冬は例年になく雪が少なく、暖かでした。このままで終わるかなと思っていましたが、3月初めに知り合いと言葉を交わした際、「まだまだ空にはたくさん雪が残ってるから、どんと降るよ」と言われました。その言葉通り、湿った雪が3月中旬に何度か降りました。私も釧路住まい30年ですが、その倍以上は釧路に住まわれている方の言葉の確かさを改めて認識しました。

はじめに、大学をめぐる情勢を少しお伝えします。ここ数年、話題の中心は「入試改革」と「高等教育の（無償化改め）負担軽減」でしたが、いずれも政策実施の目途が立ちました。大学政策の動きは小休止というところです。次に来る波は、昨年11月の中教審答申「2040年を見据えての高等教育のグランドデザイン」の具体化になりますが、これは設置基準そのものの考え方を改める内容を含んでおり、しばらく時間がかかりそうです。本学はこの時間を活用して、とくに学生の満足度を一層高めておく必要があります。

新年度の本学は、この『あうろーら』で紹介されていますが、かなり多数の教員の交代がありました。若々しい先生たちが多くを占めています。一度大学を訪問され、新しいムードを味わっていただきたいものです。

さて、いつものように机の周辺を見回して、『あうろーら』のための話題を探すうちに、1冊の本が目にとまりました。『草薙の剣』です。作者は今年72歳で亡くなった橋本治。自分とほぼ同年代の作者が最期にこんな作品を残したんだという感慨があります。まだ読みかけですが、しっかり味わい、吸収しておきたい作品です。きっと長く心に残るだろうとの予感がします。同年代にしか伝わらない思いになるかもしれませんが、お読みください。

小説は、戦後から平成の終わりまでの時代を描く編年体のかたちの体をとっていますが、読み進

むと、(自分を含めて日本人がさらには世界中の多くの人が) 特に自覚がないままに抱いているであろう「漠とした不安感」が心の底から浮かび上がってきます。そんなある意味怖い小説のキー・フレーズは「…考えなかった」、「…思わなかった」だと思います。登場する人物(庶民)たちが、「みんなが大学に行く時代になっていた。Aもとくに考えずに進学した」というようにして人生を過ごし、大人になっていくのです。ボーッと生きて、その果てに立ち尽くします。

作者は、怖がらせて、しっかりしろというだけの作品を書くつもりはないようです。文章中に、昭和から平成までの日本の政治・経済・社会の動きがかなり細かく挙げられています。登場人物たちはそれらに大きくあるいは小さく流されながら、「考えずに」生きていきます。読み手である私自身が生きてきた時間が大半ですから、自ずと私も自分の生き方を振り返ってしまいます。「あのとき何を思っただろう？」という疑問が頭をかすめます。それが続くうちに、「これは、年表作りながら読む本だな」と思い、書き始めました。この作業を学生たちにもさせたいと思いました。今年、久しぶりに担当する「哲学」で工夫してみます。

私がこれほど魅かれる理由を考えてみました。自分がボーッと生きてきたことを指摘してくれたからというのが、まず第一です。でももう一つ、この作品はボーッとした流れから抜け出す方法のヒントを与えてくれています。自分の考えや人生を時間の流れの中に位置づけるようにして、自分や世界を理解することを意識的に(能動的に)しようということです。例えば年表を作ってみようということです。問題だけではなくそれに取り組む手段を工夫させる作品であるところが、私の感銘の由来のようです。

毎回、このように唐突におわりますね。今年度もよろしくお祈りします。



退職のご挨拶

教授 高嶋 弘志

開学以来の31年を無事勤め上げることができ、多くの満足感と少しの虚脱感が去来しています。人生の半分近くを釧路で過ごしたことになります。お世話になった皆様に深く感謝しています。

今でも目に浮かぶのは開学前、最初の入試に従事した教員予定者が採点のため本学を訪れたときのことです。タクシーが愛国を抜けると突然周囲が開け、荒涼とした雪原の中にポツンと大学の建物が現われ、仰天した覚えがあります。4階の研究室からは自動車学校が近くに見え、坂道発進の車をよく眺めていました。湿原も良く見えました。それが2年足らずで芦野地区が埋まり、4年後には文苑地区の開発も始まり、大学は瞬く間に新興住

宅に囲まれてしまいました。まさに隔世の感ですが、それでも学内のあちこちから見える雌阿寒・雄阿寒の両峰が今も変わらず眼を休ませてくれます。

釧路は大都会と違って、時間がゆっくり流れています。この流れが好きです。そのような雰囲気の中で好きな研究を続けられたことが一番の思い出です。小さな大学ですので、同僚教員や職員とも親しく付き合える環境がそれを支えてくれたと思います。最近の大学は世知辛くなって、なかなか思い通りの研究ができないと聞きます。是非この雰囲気を守ってほしいと願っています。

古代史を専門としていた私が、釧路に来て古文書の魅力に取りつかれ、近世史や近代史、北海道史など異なる分野に目を向けることができました。これからも釧路で手掛けた研究を続けたいと思います。また古代史の分野で残している課題があり、亡き恩師に叱責されたことがあります。折角「雑務」から解放されますので、今一度原点に立ち戻りたいとも思っています。

皆様のご健勝と釧路公立大学の益々の発展を心より祈念して退職のご挨拶といたします。



退職の辞

教授 河村 一

今年3月をもって定年退職し、3階の研究室を明け渡します（芦野4丁目1番1号の城？を出ます！）。

思えば、開学以来、在外研究の1年を含めて30年以上勤めて参りました。今少し振り返ってみて、自らの至らなさはかりに気づきますが、その間の思い出は筆舌に尽くせません。ですから、手短かに書くことにします。

一口に30年と言っても、一体何人の学生と関わってきたか知れません。同僚や事務局の方々も同様です。（私の研究室に残っている資料からもその一端が窺われま

す。）ゼミ生だけでも2000年度と01年度を除いて400名以上。とても一言で語り尽くせるものではありません。なかでも40代後半から50代前半にかけては、もう若くはないのに、教育と研究で、いや学内行政などで葛藤の連続でした。まだ、スポーツも遣ってたかな。その後一時音楽にも凝りましたが、いや、今でもウォーキングはしていますし、唄も大好きです。

50代半ばにはやっと単著（学生時代から数えると20年以上逡巡した研究の一里塚です）を上梓することも出来ました。学内外の多くの皆さんの励ましの賜物でしょう。

最後に、老兵はただ去ることとし、若いスタッフ（学生と教職員）のこれからの活躍による釧公大の益々の発展を祈念して筆を擱きます。小生も陰ながら引き続き応援して行きたいと思っています。また、チャンスがめぐれば何処かでお逢いしましょう。KPUのバッジを背中（歴史の刻印）にして。



「出会い」に感謝して

教授 加藤 和暢

釧路公立大学の創設人事に地域開発論・経済地理担当の助教授として参画したのは、昭和という時代の最終局面であった。4月の開学後も、年の瀬まで校舎や体育館の工事が続いていたのを覚えている。工事が完了し新年を迎えたと思ったら平成の時代に入った。

以来31年が過ぎ、平成が終わるといふ時に定年退職を迎えるというのも何かの「巡りあわせ」であろう。前任校とあわせると35年にわたって大学の教員をつとめた勘定になるが、まさか大学の教員になろうとは思わなかったし、自分のような者が大学で教壇に立つのは間違っ

ているとも常に感じてきた。旧制の大学教員から見ると圧倒的に力不足だからである。

そんな違和感の故に単著の出版を躊躇していた。だが、3年前の平成28年3月27日、S状結腸憩室穿孔で釧路市立総合病院に緊急搬送され、開腹手術を受けて文字どおり九死に一生を得たことが長年の「迷い」を吹き飛ばす。単著を残さずには死んでも死にきれないと痛切に感じたのである。

病床での思いは、昨年3月にミネルヴァ書房から『経済地理学再考』を出すことで、なんとか退職前に果たせた。その出版祝いもかねて、初期のゼミ卒業生が、秋に釧路で開いてくれた「卒業式」と称する集いの席上で、あらためて感じたことがある。いまや50歳にならんとしている懐かしい顔を見ながら、彼・彼女らとの「出会い」がなければ自分のような者が定年まで大学の教員を続けられはしなかったであろうということだ。その「出会い」に感謝して退職の辞を締め括りたい。



退職の辞

教授 宮崎 武俊

「あなたはなぜロシア語を選びましたか？」-この質問に対して、学生時代の私は確信をもって答えられませんでした。もちろん、何らかの具体的な理由を挙げることはできませんでした。たとえば、ロシア文学、とりわけドストエフスキーの作品に強く惹かれたから。あるいは難解な言語といわれ、誰も学ぼうとしなかったロシア語をぜひ習得したいから、等々。南国生まれの私には、北国への強い憧れがあったのかもしれません。たしかに自分を突き動かすような願望がいくつも存在したのは事実です。

さて、ロシア文字の起源は、9世紀後半の40数個から成るグラゴル文字とキリール文字であり、それらは文字を持たなかったスラヴ民族に、聖書を翻訳してキリスト教を広めるために考案されました。また、20世紀初頭までの帝政ロシア時代には、ある記号を単語の終わりに

書く・書かないとか、同じ音価に複数の文字を当てるとか、とにかく規則性に乏しい面倒くさい正字法がありました。そのせいで、国語（ロシア語）は当時の小学生から最も嫌われた科目だったそうです。この正字法はいまでは廃止され、文字数も33個に減りました。したがって現在の私たちは、古い綴り方の呪縛から解き放たれており、ロシア語を学ぶうえではとても恵まれた、幸せな時代に生きている、と言えるでしょう。

ロシア語を選んでみようかな、と思っているあなたにひと言。ロシア語は語尾変化の多いことばであり、登山にたとえれば、最初いきなり岩登りをしなければなりません。しかしながら、語尾変化が多いということは、それだけで意味が限定されるため、その語尾変化をしっかり覚えてしまえば、おもしろいほどロシア語が理解できるようになります。ロシア語を選ぶ理由は何でもかまいません。ちょうど地球のどの表面から掘っても中心に到達するように、正しい方向さえ守っていれば、ロシア語のおもしろさを発見することができるはずです。それを人生の宝物としてください。



退職の挨拶

准教授 中村 隆文

この度、3月末日をもちまして本学を退職することになりました。釧路公立大学で勤務する前は鹿児島で働いておりまして、日本の南の端から北の端へとやってきて、見るものすべてが新鮮でした。気候、食べ物、習慣など、「同じ日本でもここまで違うのか・・・」と驚くこともしばしばありました。それぞれの地域の人たちが一生懸命生きてきたその積み重ねにこそ文化が醸成され、それが人々の生活様式を形どっているということを肌で実感できました。4月より勤務する神奈川大学では私は比較文化論を担当することになっていますが、この地で学んだことは教員としての私のキャリアにおいて意義あるものであったと思っています。

本学では「倫理学」「哲学」「法律・政治特殊講義」の

他、各種ゼミなどを担当しました。学生の多くが、私の拙い講義に耳を傾け、ひたむきに学んでくれていたとしみじみ感じています。ゼミ生にも恵まれました。大学で学ぶ内容は高校までの授業と一線を画すため、いろいろ戸惑っている学生もいるようですが、しかし、それはどこの大学でも同様だと思います。考え方によっては、高校終了時の学力や大学入試の偏差値に劣等感をもっている人でも、努力の仕方次第で、卒業時には一流大学卒の人たちに負けないくらいの知識・教養・スキルが身につけていることもありますし、私のゼミ生でもそういう学生はいました。総じて、釧路公立大の学生は素直で、「自分はものを知らないから学ばなければ！」という謙虚さと意欲をそなえた学生が多かったように思います。どうか学生時代に大きく変化を遂げ、自分の可能性を伸ばしてもらえればと思います。

この素晴らしい釧路公立大が末永く続きますこと、そして、教職員および学生の皆様のご健勝と益々のご活躍を祈念いたしまして、退職の挨拶とさせていただきます。5年間、本当にありがとうございました。

新任教員紹介

● 丁 雷

「中国語Ⅰ」、「中国語Ⅱ」、「中国語Ⅲ」、「中国語Ⅳ」

● 中山 大将

「日本史」、「日本近代史／日本史特講」、「歴史学概論」、「国際関係論C」

● 永山 ゆかり

「露語Ⅰ」、「露語Ⅱ」、「露語Ⅲ」、「露語Ⅳ」、「露語コミュニケーション／露語基礎」

大学ニュース

— 平成30年度を振り返って —

- 4月1日(日) 交換留学生来日
韓国の牧園大学より金 奎延(キム ギュヨン)さん、許 玫瑰(ホ ミンヨン)さん、柳 慶民(ユ ギョンミン)さんが本学の交換留学生として来日した。
- 4月10日(火) 第31回入学式
午前10時より本学31期生の入学式が挙行され、352名(経済学科235名、経営学科117名、男262名、女90名)が晴れて入学した。
- 8月4日(土) オープン・キャンパス
本学の関心を高めてもらうため、オープン・キャンパスを開催。今年で22回目となり、396名の参加者は熱心に話を聞いていた。
- 9月1日(土) 交換留学生来日
台湾の明道大学より邱 建銘(キウ ケンメイ)さんが本学の交換留学生として来日した。
- 10月3日(水)～11月9日(金) 公開講座
平成30年度の公開講座を本学の島信夫教授、尾崎泰文教授、田中達也准教授、大澤理沙准教授がそれぞれ個別のテーマで講演を行った。
- 10月5日(金)～7日(日) KPUフェスタ(大学祭)
今まで積み上げてきた実績と経験に趣向を凝らした様々なイベントが催され、より一層、盛況なものとなった。
- 10月16日(火) 特別講演会
山口大学名誉教授・大連外国語大学外国人教師の植村高久氏より「グローバル資本主義の転換～段階論の見地から～」をテーマに講演があった。

- 10月22日(月) 特別講演会
行政書士・社会保険労務士の片野真理子氏より「中小企業と専門職-人事労務マネジメントに関連して-」をテーマに講演があった。
- 11月3日(土)～4(日) エンジン01in釧路
北海道命名150周年を記念し「エンジン01in釧路」が開催され、100を超える講座が釧路公立大学で開かれ、延べ9,100名が参加した。127名の学生がボランティアとしてイベントを支えた。
- 11月22日(木) 平成31年度特別選抜試験
全国より145名(経済学科108名、経営学科37名)の志願者があり、その結果115名が合格した。
- 平成31年度一般入試(前期日程)
大学入試センター試験をもって選考。409名(経済学科256名、経営学科153名)の志願者があり、3月5日(火)に合格発表が行われた。
- 3月8日(金) 平成31年度一般入学試験
[公立大学中期日程]
釧路・札幌・盛岡・東京・大阪の5会場にて実施。1,660名(経済学科1,152名、経営学科508名)の志願者があり、3月21日(木)に合格発表が行われた。
- 3月23日(土) 平成30年度学位記授与式
第28期の卒業生286名が公立大生として堂々と学位記の授与を受け、さらに成績優秀な5名が特別表彰された。式の終了後、卒業生は学友と記念撮影などをし、別れを惜しみながら巣立っていった。

2019年度(平成31年度)年間スケジュール

4月1日……学年始め	9月23日……後期授業開始	1月30日……後期定期試験(2/6迄)
8日……入学式	10月11日……大学祭(KPUフェスタ)	3月2日……卒業生発表
9日……全学年共通オリエンテーション	(10/13迄)	3月8日……2020年度一般選抜試験
10日……前期授業開始	11月21日……2020年度特別選抜試験	3月16日……春期休業開始
6月25日……開学記念日	12月21日……冬季休業開始(1/8迄)	3月23日……学位記授与式
7月31日……前期定期試験(8/7迄)	2020年	31日……後期終了
8月8日……夏季休業開始(9/22迄)	1月9日……授業開始	

活躍する教員

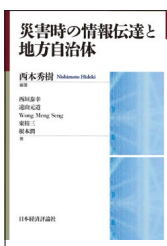
本学で活躍されている教員の著書をご紹介します。



千田 航 准教授
フランスにおける雇用と子育ての「自由選択」
 家族政策の福祉政治

(ミネルヴァ書房、2018年9月10日)

フランスには現金給付だけで8、9種類、保育サービスでも同じくらいの種類の多様な家族政策があります。本書は、こうした多様な家族政策がいかにしてできたのかという問題を「自由選択」というキーワードから読み解いたものです。たとえば、フランスの保育サービスは、誰もがサービスを自由に選択できるように、保育士よりも短期間の研修で保育サービスを提供できる「認定保育ママ」という資格を1990年に作り、親の子育てのニーズを満たしていきました。専門書なので難しいところもありますが、興味のある方は挑んでみてはいかがでしょうか。質問はいつでも歓迎です!



編著 西本 秀樹
 著 東 裕三 准教授
 (ほか薯)
『災害時の情報伝達と地方自治体』

(日本経済評論社、2019年3月8日)

本書は複数の著者により地方自治体による望ましい災害時の情報伝達や政策について分析されたものである。私が担当した箇所では次のようなことが明らかにされた。地方自治体の政策を望ましいものに向く理論にヤードスティック競争があるが、本稿ではヤードスティック競争がその機能を果たすためには地方政府の活動の透明性を高めることや、各地域住民の効用水準等の情報が全住民に正しく伝わっていることが重要であることが示された。さらに、地方政府と中央政府の相互の活動によって生じる垂直的外部性もヤードスティック競争によって矯正することが可能であることが示された。地方財政論の新たな理論に興味のある方は是非本書を手にとっていただきたい。

留学を終えて



カナダ・キャピラノ大学派遣

経済学科4年 高野美希

この留学はわたしにとって大学生活一番の挑戦であると同時に、一番充実した期間でした。もともと多文化交流に興味

があったため、移民の国カナダはとてもいい環境でした。さまざまな文化の違いを、英語を通して知ることによって、学べることも二倍でした。言いたいことをうまく伝えられなかったり、聞き取れなかったことも多々ありましたが、コミュニケーションをとる努力が欠かせないという点では、日本であまり体験できないことだと思います。この留学を経て、自分の視野、将来の夢が大きく広がったと感じています。



カナダ・キャピラノ大学派遣

経済学科3年 畠山結衣

カナダへの4ヶ月間の留学は私にとってとても大きな挑戦でしたが、自分から積極的に行動しないといけない環境は自分を成長させるチャンスが多くありました。留学当初はホス

トファミリーとの会話や友人達の会話がなかなか聞き取れず悩んだこともありましたが、周りの友達や先生、家族の助けや地域のイベントや活動に参加することでコミュニケーションをとることが楽しくなり、わくわくして毎日を過ごすことが出来ました。様々な国の人と関わることでお互いの国の文化を共有し、楽しんで学び交流出来たことは私の将来の目標を見出す大きなきっかけとなりました。自分の考えを持ち素直に相手に伝えてかわり合うことの大切さを学べた留学となりました。

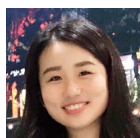


カナダ・キャピラノ大学派遣

経済学科3年 松田裕由

英語圏の国へ行くのは初めてだったということもあり不安が大きかったのですが、ホストファミリーや友人のサポート

があり安心して過ごすことができました。授業ではグループワークやペアワークを行うことが多く、主体性を持ち自分から積極的に話せる力が求められます。また大学内には高い向上心を持った学生が多く在学しており良い刺激になりました。私は留学を通して行動することの大切さ、他国の文化や人の考えを受け入れられる柔軟さが大切だということを学びました。



大韓民国・牧園大学派遣

経営学科4年 大塚晴美

私は、2年生の時に参加したサマーキャンプと韓国語の授業をきっかけに韓国に興味を持ち、留学に行かせていただき

ました。韓国では、語学だけでなく、料理やテコンドーなどのスポーツを通してたくさん韓国のすばらしさを吸収できたと思います。また、授業などで日本のことを発信する機会も多く、日本のすばらしさにも気が付くことが出来ました。自分をきっかけに日本に興味を持ってくれた方々や友達もいて本当に行って良かったなと思っています。本当にありがとうございました。

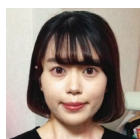


大韓民国・牧園大学派遣

経済学科4年 瀧澤まみ

スポーツやキリスト教、共同生活を通して、様々な国籍や年齢層の人との多くの出会いがありました。「日本人です」

と自己紹介をすると、ほとんどの人が「日本が大好き」「日本は良いところだね」と、歴史上・政治上では、日本と激しい対立のある韓国の地で、あたたかい言葉を何度も耳にするとは思っていませんでした。私達のような若者同士の直接の交流が、お互いの国の印象を良くしたり、誤解が解けたりするきっかけとなり、これからの日韓関係の改善に繋がると確信しました。

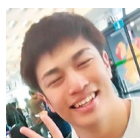


大韓民国・牧園大学派遣

経済学科3年 渡辺莉穂

私は中学校の時から韓国が好きで、ずっと留学したいと考えていました。留学を通して一番感じたことは、いろんな人

がいて様々な進む道や生き方があるということです。これは当たり前なことかもしれませんが、私は日本を出ることによって普段出会えない人と交流を持ち、新しい考え方に出会って再認識させられました。「普通」に囚われて行動できない自分も、留学を通して自分に自信を持ち、また自分らしく居れるよう成長できたと思います。留学に少しでも興味があり迷っている人がいたら、ぜひ挑戦してみてください。



台湾・明道大学派遣

経営学科4年 上原竹溪

私は台湾の明道大学へ一年間、交換留学に行きました。釧路公立大学で二年、中国語を勉強してから、満を持して臨んだ台湾留学でしたが、同じアジアの島国とはいえ食、文化、

言語と何から何まで日本と異なる環境に置かれ、なにより言語の壁は自分が思うよりはるかに高く、まるで自分が赤ん坊の頃に立返ったかのような、そんな日常を送りました。幸いにも心優しい友に恵まれ、「さあ、これからだ!」というときにはもう一年が過ぎていました。台湾に渡ったあの日、空港で一枚の写真を撮りました。写真を見るたびにあの日感じた思いが鮮明に蘇ります。そして自分の成長を感じさせてくれるこの写真が私は大好きです。



台湾・明道大学派遣

経済学科4年 佐々木優衣

異国で生活する大変さを感じることは多くありました。文化の違いや環境に慣れるまで少し時間がかかりました。特に

自身の語学レベルの低さにはとても悩みましたし、言いたいことをうまく話せない時には本当に辛く感じました。しかし、この半年間で自身の人生観が大きく変わりました。楽しい時も壁にぶつかり悩んだ時もありましたが、人生の中でたった1度の大きな経験ができ、支えてくださった皆様に感謝しております。これからもこの経験を生かし、自分自身の向上を目指し、精進して参ります。

入|学|お|め|で|と|う

体 育 会

体育会会長

経営学科3年 八重樫 健太郎



新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。釧路公立大学へようこそ。

大学生活では、たくさんのことを学んだり、経験したりすることができます。自分がどの講義を受けるのか、誰と一緒に過ごすのか、講義以外の時間を何に費やすのか、すべてにおいて皆さん次第です。また、皆さん自身の一つ一つの行動に責任も伴ってきます。一つ一つのことしっかり考えて行動し、新しいことにも積極的に取り組み、たくさんのことを吸収してください。また大学は、部活・サークルもたくさんあります。どれか一つだけでもいいので入ってみることをおすすめします。たくさん仲間ができたり、たくさんを経験できますよ。

大学は自由でとにかく楽しいです。全力で勉強し、全力で楽しんでください。

皆さんの大学生活を心より応援しています。

文 化 部 会

文化部会長

経営学科3年 木村 武



新入生のみなさん！釧路公立大へようこそ！文化部会長の木村武です。

みなさんはこれから大学生活という新生活のスタートを切ることになります。大学生は中学高校と比べて、自ら意思決定をする機会が圧倒的に増えます。どの教科を履修するか、どの先生のゼミに入るか、どのサークルに入るか、誰と一緒に過ごすのか、バイトをする時間や場所、暇な時間に何をするか…。時間の使い方は人それぞれです。自分の学力を高めるのも、堕落するのも全て自己責任です。ですのでどうか、時間の使い方には気をつけてください。一年生の前期の過ごし方で、今後の大学生活が変わっていくと思います。気合いを入れて、気負いすぎず、普段通りの自分で大学生活をスタートしてください！

みなさんの大学生活がより良いものになるよう、心から応援しています！

卒|業|生|か|ら|の|メ|ッ|セ|ー|ジ

卒業にあたって

経済学科 千田 岬平



釧路公立大学での4年間は多くの出会いにも恵まれて、毎日が楽しく、とても充実したものでした。大学では自分で考えて時間割を組みます。自分が学びたいことや自分の興味がある職種に関連する講義を選択して履修することで就職活動の時に自分が学んできたことをしっかりと相手に伝えることができると思います。

就職活動では、大学生活や大学生になる前に「どんなことを経験して、何を学んだのか」を相手にしっかりと伝えることが重要だと感じました。また、就職活動を進めるうちに、思うように就職活動が進まないこともあると思います。そのような時は、家族や友人、学内のキャリアセンターに相談することも大切だと思います。

大学生活の4年間は想像しているよりも短いと思います。自由な時間が多い大学生のうちに学業やアルバイト、部活動にサークル活動など、限られた時間の中でたくさんの方に挑戦して充実した生活を送ってください。皆さんのご活躍を心より願っています。

大学生活を振り返って

経営学科 田中 万里菜



釧路公立大学での4年間は私にとって、とても充実した日々でした。1年次は、高校との違いを大きく感じ自分で受ける講義を選んだり、テスト範囲が高校よりも広くなおかつ専門的で友人たちと夜遅くまで必死に勉強したことを今でも思い出します。また、友人に誘われたことをきっかけに硬式テニス部に所属していました。そのおかげで、部活動を通して先輩や友人、2年次以降は後輩にも恵まれ大学生活を充実させる大きなきっかけになったと感じています。

3年次からは国際関連に興味があったこともあり、専門演習は曾我ゼミに所属していました。東京での学会発表をゼミ生の同期たちと経験し、発表に至るまでの研究や準備はとても大変でしたがいい経験を得ることができ、先生に感謝しています。また、この学会発表での経験は就職活動で聞かれることの多い「学生時代に力を入れたこと」で話すことも多かったです。留学や受賞歴、アルバイトや部活で成し遂げたことが思い浮かばず悩んでいる人もいるかもしれませんが、これまでの学生生活を振り返り自分が頑張れたことを探してみてください。

皆さんが充実した大学生活を送り、活躍することを心より願っています。

就職戦線最新情報

卒業予定者の内定先リスト (現在の内定状況) 2019/03/23

- 建設業** 一条工務店、北弘電社、郡リース、コスモ建設、大同舗道、北海道セキスイハイム、三井ホーム北海道、ロコスホーム
- 製造業** 伊藤ハムデリー、上田商会、ウェルファムフーズ、大原食品工業、ジャロイヤルケータリング、スターゼン、タカラスタンダード、日本エレベーター製造、八戸缶詰、東日本フード、日立パワーデバイス、日の出工業、ホクレンくみあい飼料、北海道糖業、モリタン、ヤスダフラインテ、横河ブリッジ
- 卸売・小売業** 旭川スズキ販売、アダストリア、IDOM、岩崎、NKインターナショナル、エービーシー・マート、エム・エス・ケー農業機械、オークワ、帯広地方卸売市場、オンリー、釧路トヨタ自動車、コスモス薬品、サンデー、サンボット、シモジマ、生活協同組合コープさっぽろ、セブン・イレブン・ジャパン、タウ、丹波屋、DCMホームック、ティーシートレーディング、デコラティブシステム、東邦薬品工業、トヨタ部品北海道共販、ナシオ、日本ニューホランド、パール金属、ビッグモーター、富士ゼロックス北海道、ほくやく・竹山ホールディングス、ホシザキ北海道、北海道三菱自動車販売、モロオ、薬王堂、山形ダイハツ販売、山田機械工業、雪印種苗、リコージャパン、リリアブル、渡敬
- 金融・保険業** あいおいニッセイ同和損害保険、青森銀行、秋田銀行、旭川信用金庫、岩手銀行、渡島信用金庫、帯広信用金庫、釧路信用金庫、釧路信用組合、上光証券、新庄信用金庫、損害保険ジャパン日本興亜、大地みらい信用金庫、伊達信用金庫、東奥信用金庫、東海東京フィナンシャル・ホールディングス、東京海上日動火災保険、東邦銀行、東北銀行、苫小牧信用金庫、日専連釧路、日本生命保険相互会社、野村証券、北門信用金庫、北洋銀行、北海道銀行、北海道信用漁業協同組合連合会、北海道信用金庫、三井住友海上火災保険、社都信用金庫、山形銀行、リテラ・クリア証券、稚内信用金庫
- 運輸・情報通信** アイエイ・コーポレーション、アクセンチュア、エイトビー、カステラ、クロスキャット、佐川急便、札幌映像プロダクション、GS I、JBSテクノロジー、JIG-SAW、ジャパンテクニカルソフトウェア、スペースアルファシステム、全日本空輸、ナラサキスタックス、日本SE、日本情報産業、日本通運、日本郵便、東日本旅客鉄道、富士ソフト、ホクレン運輸、北海道キューブシステム、北海道旅客鉄道、ホープス、ホームロジスティクス、三ツ輪運輸、ユーニス
- 電力・ガス** 伊藤忠エネクスホームライフ北海道、エネサンス北海道、ほくでんサービス、北海道パワーエンジニアリング
- 不動産業** アート不動産、エイブル、住友不動産販売、トヨタレンタリース釧路
- サービス** I I Cにしお歯科クリニック、アウトソーシングテクノロジー、秋田キャッスルホテル、旭川医科大学、エイチ・ビー・エヌ、ANA新千歳空港、オホーツクはまなす農業協同組合、済生会宇都宮病院、きたみらい農業協同組合、キャスト、釧路第一経営センター、グローバル経営センター、globeコーポレーション、健全会、合田観光商事、国立病院機構北海道東北グループ、札幌臨

床検査センター、J R東日本マネジメントサービス、進学会、新産健会、すかいらーくホールディングス、スポーツマリオ、つるい養生邑、鶴雅リゾート、東京都国民健康保険団体連合会、東北大学、東和コンサルタント、豊頃町農業協同組合、日本年金機構、ニラク、ハイ・スタンダード、浜中農業協同組合、PEO、ピンネ農業協同組合、ふくしま未来農業協同組合、ホクレン農業協同組合連合会、北海道勤労者医療協会、北海道シーアイシー研究所、北海道セーフティネット協議会、北海道ひがし農業共済組合、ポート、マイナビ、マスダプランニング、みなみなプレイス、芽室町農業協同組合、米沢平野土地改良区

■**地方公務** 秋田県警察、旭川市役所、旭川市役所(消防)、遠軽町役場、大石田町役場、大空町役場、音更町役場、鹿児島県庁、鹿角市役所、上山市役所、釧路市役所、釧路市役所(消防)、黒松内町役場、埼玉県警察、積丹町役場、砂川市役所、中標津町役場、野木町役場、函館市役所、東神楽町役場、北海道庁(一般行政)、北海道庁(教育行政)、北海道庁(警察行政)、北海道警察、山形県警察、湯沢市役所、横浜市役所

■**教員** 北海道教員(中学)、北海道教員(高校)

■**進学** 北見工業大学大学院

平成30年度卒業予定者の就職状況

2019/03/23現在

1. 求人件数及び内定状況

区分	求人件数	卒業(予定)数	就職希望者数	内定者数	内定率(%)	未定者数
男子		217	202	192	95.0	10
女子		76	72	69	95.8	3
共用	716	—	—	—	—	—
合計	716	293	274	261	95.3	13

2. 進路別内定状況

進路	男子				女子				計			
	希望者数	内定者数	未定者数	内定率%	希望者数	内定者数	未定者数	内定率%	希望者数	内定者数	未定者数	内定率%
民間	173	163	10	94.2	65	62	3	95.4	238	225	13	94.5
公務	27	27	0	100.0	7	7	0	100.0	34	34	0	100.0
教員	2	2	0	100.0	0	0	0	0	2	2	0	100.0
計	202	192	10	95.0	72	69	3	95.8	274	261	13	95.3
進学	1	1	0	100.0	0	0	0	0	1	1	0	100.0
無業	11	11	0	100.0	2	2	0	100.0	13	13	0	100.0
計	12	11	1	83.3	2	2	0	100.0	14	13	1	71.4
合計	214	193	21	90.2	74	69	5	93.2	288	262	26	91.0

3. 産業別地域別内定状況

業種	釧路管内		北海道内		北海道外		計		合計	割合
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子		
製造		1	9	5	14	3	23	9	32	12.3
卸売・小売	1		12	5	22	6	35	11	46	17.6
金融・保険	4	2	12	11	12	6	28	19	47	18.0
運輸・情報	3		8	2	18	4	29	6	35	13.4
電力・ガス			4		1		5	0	5	1.9
サービス	9	2	16	5	20	10	45	17	62	23.8
公務	3		17	4	7	3	27	7	34	13.0
計	20	5	78	32	94	32	192	69	261	—
合計	20	5	78	32	94	32	192	69	261	100.0
割合	9.6%		42.1%		48.3%		100.0%			

◎平成31年度前期授業料の納付について

前期授業料は5月7日までに納めてください。最寄の金融機関から、同封の「納入通知書兼領収書」でお振込みください。特別な事情により授業料の分割納付や減免を希望される場合は、学年毎に指定された受付日に関係書類を提出してください。

編集後記

2016年の国民投票で決定されたEU離脱を3月29日に行う予定のイギリスは、今のところ離脱を延期することになりそうです。40年あまりに渡ってヨーロッパ大陸諸国とともに歩んできた島国が、現在、大きな転機を迎えています。ユーラシア大陸を挟んで反対側にある島国の日本も、平成の終わりを迎えて大きな転換点にあるのかもしれません。平成という時代を通じて世界における位置づけが大きく変わってしまったという現実を見据え、今後も日本の東端に近い釧路公立大学から激動する世界に目を向けていきたいと考えています。

釧路公立大学だより 第59号

2019年(平成31年)4月1日発行

◎発行元

釧路公立大学

〒085-8585 釧路市芦野4丁目1番1号

TEL 0154-37-3211

FAX 0154-37-3287

学生課: TEL 0154-37-5091

URL: <http://www.kushiro-pu.ac.jp/>

◎発行日

毎年2回(4月1日、10月1日)